

国際開発研究者協会 (SRID) へ入会のお誘い

SRID (Society of Researchers for International Development) は国際開発に携わる実務者や研究者が相互に連携して親睦を図り、開発研究者として創造力あふれる活動をするために、励まし、協力し、啓発しあうことを目的として、故大来佐武郎氏を中心に 1974 年に設立されました。

主な活動は電子版「SRID ジャーナル」の発行、キャリア開発事業の実施、懇談会やフォーラムの開催、ニューズレターの発行、会員間の懇親会やサロンの開催などです。現時点での会員数は JICA 等の日本の国際開発協力機関、その他の政府機関、国連システムの諸機関、世銀グループを含む開発金融機関、大学等の研究機関、NPO 等の民間団体、及び民間企業の職員、退職者、学生など約 80 名です。

コロナ危機、地球温暖化、大規模災害、経済格差拡大、国際紛争など、日本や開発途上国を含め国際社会が直面する環境はこれまで以上に厳しく、複雑になっています。一方、国際社会にはこれらの課題を転機として捉え、安全や社会的公正の実現を目標とする Sustainable Development Goals (SDGs) を掲げるなど、持続可能な解決を探る動きが出ています。IT 技術の活用による変革 (DX)、人口知能 (AI)、再生可能エネルギーなど、新技術の開発が有効な手段を提供しています。

SRID はその活動を通じて国際開発の様々な課題を研究し、議論し、意見を広く発信してきました。例えば、SRID ジャーナルの配信先は 570 を超えます。有識者を講師とするオンライン懇談会は、日本各地と海外からの参加者も加わって年に 4、5 回開催されており、毎回定員を超える 100 人以上の申し込みがあります。国際開発に従事する人材を育成するキャリア開発事業の受講者数は、2017～2020 年度の累積で 1291 名に上ります。

SRID の最も大切な資産は、様々な分野で国際開発に携わる経験豊富な会員の知見とネットワークです。SRID では国際開発の課題を共に研究し、議論し、世界と日本の抱える課題の解決に貢献したいと願う会員を広く募集しています。2022 年度は Zoom の活用による支出削減を考慮し、年会費をこれまでの半額の 4000 円としました。学生会員は 1,500 円 (学部生)、または 3,000 円 (院生) です。この機会に是非 SRID への入会をご検討ください。

SRID の目的、活動内容、入会申込手続きはホームページ <https://www.sridonline.org/srid.html> をご覧ください。また、ご質問などありましたら SRID 事務局 sridjimu@gmail.com 山下までご連絡をお願いします。